

ひまわり通信

SSKS

No.90



平成三十一年度連協施設見学会

理事長 隅一清

今年度の連協施設見学会は、杉田会長と私副会長が九月で退任したので、後任の村井会長と小林副会長が引き継ぎました。

杉田氏も私も連協の委員を十年、『自立の家』の小佐野氏の後を継いで会長、副会長を十年、計二十年に渡って連協に関わってきました。

連協(障害者福祉団体連絡協議会)は、行政と障害者団体が密なる連絡を取り合って、スムーズな運営を維持していく上で必要不可欠です。今度、会長・副会長になられたお二人は、重度の障害がある方の成育や、自立出来る環境を作る等、多方面で活動されています。

九月二日(日)朝九時に雨の降る中、区の職員に見送られて、区役所をたけのこ観光の伊集院さんの運転で出発しました。

首都高速を抜け、常磐道に入り友部SAで休憩する頃は雨も上がりました。

今年度は杉田前会長も元気にいられて参加して頂きました。また、世聴協(世田谷聴覚障害者協会)の方も参加され手話通訳の方もお二人同行されました。今回の施設訪問先は、いわき市内にある社会福祉法人いわき育成会です。

到着後、会場に入り理事長や園長の挨拶の後、

杉田前会長から見舞金を手渡しました。記念写真を撮った後、今夜の宿泊先のスパリゾートハワイアンズに到着しました。

アロハに着替えて、入浴後に宴会場に集まり前会長・副会長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。夕食後は名物のフラダンスを見学しました。

二日目は、湯本温泉の古滝屋のご主人がガイドツアーをして、帰宅困難地区や夜間立入禁止区域や居住制限地域などをバスで廻る事になりました。建物は普通に立って、コンビニ等もあるのに人影がまったく無い町並みは正にゴーストタウンでした。今年三月三十一日に帰宅解除になった地区でも、一割程しか戻って来ていないので夜は住宅街でも真っ暗とか。

あれから七年も



経ったのに、何一つ解決していない実感がそこにありました。
古滝屋のご主人は、何より風化してしまうのを恐れて被災地を案内するスタディツアーの取り組みを始め今迄に県内外で四千人以上の人達を案内したそうです。ツアーのキャッチコピーは、知って感じて考える、との事でした。
現地での昼食も、食堂みたいな処でチケットを買って自分で運ぶ様な場所です、来ている人はほとんど被災地の現場で働いている人達で、隣接するスーパにも住人らしい人影はありませんでした。今回の施設見学会の旅は色々と考えさせられる旅となりました。

私のおばあちゃん

高居恭子

私のおばあちゃんについて書きます。私は今年のNHKの朝ドラの舞台になった『半分青い』の岐阜県で生まれ育ちました。TVでは東美濃でしたが私は岐阜市内の都会育ちです。『柳ヶ瀬ブルース』の柳ヶ瀬の近く、織田信長様のおひざもとであり、長良川で産湯に浸かり：というヤツです。

さて、私のおばあちゃんは明治四十四年生まれで、明治・大正・昭和・平成と生き抜きました。私の家は祖父母と両親、兄と姉、私の七人家族でした。物心つく頃には両親は共働きで、私は祖父母に面倒を見てもらっていました。

おばあちゃんは手先が器用でハギレから座布団のカバーを縫ったり、浴衣を縫ったり、梅干やらつきようを漬けたり、梅酒作ったり、かりん酒作ったり、きんかんの甘いのを作ったりしていました。おはぎやぼた餅、お月見の時にはお供えのお団子をそれはそれは美しく作ってお飾りしていました。お月様に供えてからでない絶対食べる事はできません。お話もとても上手でどの絵本にも物語にも聞いたことのないような、たぬきやキツネが出てくるような面白い話をいくつもしてくれました。そんな物語は一つも思い出せませんが、忘れられない話をしてくれました。

それは、おばあちゃんのお母さん(私の曾祖母ですね)が、亡くなる瞬間の話です。おばあちゃん「はたち位るとき」、私「はたちって?」(私はまだ十歳にもいってません)、

「二十歳だよ。おばあちゃんのお母さんがもう死にそうになってたんだけど、急にがぼつと起きて、みかんみたいな果物をしぼれっていうんだけど、よく分かんなくて、そうしたら怒って『スズマ(おばあちゃんの名前は、すずです)はバカだ、バカだ』と言うんだけど、なんとかさらしみたのでお茶碗にしぼったから、そのお茶碗を取ってぐうーつと飲み干してガクツとおばあちゃんの肩に(おばあちゃん身ぶりをしてくれる)倒れるように死んだんだよ」と。子供には刺激のある話でした。

また自分が見た夢の話もよくしてくれました。「昨日、夢で川が出てきて、向こうで『おい、おい』ってみんなが呼ぶんだよ。呼んでる人はみーんな死んだ人ばかり。あれで行ってたらもう今日は死んでたかもしれないねえ」と。三途の川でしょうか。

おばあちゃんは平成二年に八十二歳で亡くなりました。今でも私の中には、おばあちゃんの話やおばあちゃんのいつも言っていたことが日々浮かんできます。おばあちゃんは肩こりもちでよくあん摩をさせられました。二十分くらいやっているとようやく「もういいよ」と百円をくれるので、がんばりました。私は大人になり本当にあん摩指圧マッサージ師になっています。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

亀井歌子

爽籟や雲の流れて新勝寺
銅葺きの大屋根に秋成田山
秋風の通り抜けたる仁王門
尾を振つて鴉の高鳴き鬼子母神
痛んでみて人の痛みや秋時雨

宮澤みどり

カーテンを咄嗟に閉める稲光
星明り大停電の地を包む
天窓を叩く豪雨やとろろ汁
秋めくや人を待つ間の古本屋
豚汁に一味の赤や秋彼岸

大谷のり子

源流に近きテントや人の声
熊避けの鈴が後から登山道
蛸やダム湖の水の平らかに
稗粟の青きが落ちて秋彼岸
秋刀魚焼く匂ど、から猫の鬣

小田原郁代

指輪をはづし母を語りて夜の秋
今日の月しみじみ眺め橋の上
旧盆の黒のバッグや待ち合せ
大根を急ぎ買ひ足す初秋刀魚
淡淡と多摩の堤や草の花

行事報告

◎暑気払い食事会

八月十六日(土)

今年には都立大学の跡地に出来たパーシモンホルの隣にある、イタリア料理レストラン『Yakumo II』で開くことになりました。

三十名でないと言われたので、三十名で申し込みましたが、参加者は三十一名でしたのでホッとしました。

飲み放題のコース料理で一人四千円でしたが、サラダが食べ放題だったので、皆さん喜んでいました。料理はまあまあと言ったところでした。

参加者 三十一名

◎臨時総会を開催しました。

今年から特定非営利活動法人(NPO)の決算報告の告示方法が変わり、年度ごとの貸借対照表の公示が義務付けられました。それに係る定款の一部変更を余儀なくされました。

六月の通常総会が終わったばかりだったので、本来はその総会で議案として協議するはずでしたが、ウツカリ失念してしまいました。

新たに会場を取ったり、案内状を出したりするのは大変なので、八月の暑気払い食事会の後に開くことにしました。

委任状と出席者で半数を超えたので、實井氏を議長に選任して、公告の方法として、会のホームページに於いて行う、との文章を定款に追加することを全員一致で可決しました。

ご協力頂いた会員の皆様、有難うございました。

◎九月日帰りドライブ

富士サファリパークの旅

九月九日(日)

富士山の広大な裾野に作られた、このサファリパークは大人も子供も楽しめる動物王国です。天候にも恵まれ、野沢を九時出発に出發して途中トイレ休憩を取りながら昼には到着しました。昼食を食べてから、乗って来たバスで園内を一周しました。各ゾーンごとに頑丈な柵で仕切られていて、あちこちに整備の車両が止まっています。警戒に当たっていました。サファリパークのバスに乗ると周囲の金網にエサを付けてあるのでライオン達が寄って来るそうです。

それでも、キリンやサイ等はバスのそばに寄って来て間近にみられました。

富士山の噴火でころがってきた溶岩の上に、苔が生え樹齡何十年の大木が生い茂る風景は、自然の力強い息吹きを感じさせられました。

園内一周を終えて、一般道を御殿場まで戻り、道の駅に立ち寄り夕食の買物をしてから、野沢に帰ってきました。参加者二十八名



◎十月日帰りドライブ

あかぼり小菊の里

十月二十一日(日)

伊勢崎市にある、小菊の里は、地元の人や観光客の方々が苦労して育ててきた、ザル菊の畑で十月下旬から十一月にかけて、見事な菊の畑になります。今年は開花が遅く、当日は未だ三分咲きでした。

野沢から本来は関越道で行くのですが、関越道が事故渋滞との事で、東北道、北関東道で波志江SAで下車、昼食場所の椿屋に行きました。

見事な建物の内装や、豪華な椅子に座って和食料理を堪能しました。

小菊の里の駐車場降りて、菊の畑を散策したり、売店で買物をしたりして三時過ぎに出発、藤岡にある道の駅に立ち寄りました。

今回のバスは、世田谷区から助成した頂いた福祉バスで、乗り心地もよく、車イスの固定もリフトも最高でした。来年度は、普通のバスを二回使用する予定です。

参加者 三十四名



行事予定

忘年旅行会

九十九里かんぽの宿 旭

今年も九十九里の旭で忘年会を開きます。連協の杉田会長も元氣になられたので、今年も合同で行います。是非ご参加下さい。恒例の『もちつき』もありますので、ヒューマンでもお手伝いして下さる方をお願いします。

記

- ◎日時 十二月十六日(日) 九時出発
- ◎行程 野沢く湾岸道く東金道路く銚子連絡道くかんぽの宿旭
- ◎会費 一人五千円(入浴・昼食代)(個人移送料なし)

※参加希望者は十二月五日までにご連絡下さい。



※昨年の写真デース\(^o^)/

新春新年会

恒例の新年会は、事務所の前にある中華レストラン・華空間で開催します。今年の新年会は龍雲寺さんの獅子舞いの会の方に来て頂き、出席者の無病息災を祈って頭を噛んでもらったので、今年は皆さま元氣だったと思います。来年の新年会も何かイベントを考えていますので、お楽しみに…。

記

- ◎日時 一月十二日(土) 十二時〜十五時
- ◎会費 一人 五千五百円(飲食代)
- ◎送迎 希望者は送迎します。費用は無料です。

※参加ご希望の方は十二月二十日迄に事務所にお申し込み下さい。

※尚、会の移送ドライバーの方には移送をお願いする事がありますので、ご協力の程お願いします。



※今年の写真デース\(^o^)/



編集後記

今年もあと一ヶ月で終わろうとしています。十二月は、みかん狩り、ふれあいフェスタ、忘年旅行など、行事が詰まっています。この他にも、忘年会がいくつか予定されています。毎日、朝から晩まで業務に追われて、たまにはのんびりと温泉でも…と考えていますが、なかなか実行出来ません！正月も、来年は曜日が悪く四日迄しか店は休みが無いのと、例年二日三日は兄弟の集りがあります。

今年の元旦は、透析の方の移送があり、誰も行く人が無く、私がお屠蘇も飲まずに移送しました。来年の元旦もどうなるかわかりませんが平成も残り少なくなってきました。年号が変わっても別に生活に影響があるわけでもないのに、別に気にしてもいませんが…。

消費税が上がるのはチョット大変になるかも知れませんが、食料品、雑貨は従来通りとの話もあるので、大きな買物はしないので、今まで通りかもしれませんね。何はともあれ、毎日が元氣であればよし！という感じですが、皆様も元氣で頑張ってください。

「ひまわり通信」90号

2018年11月21日発行

編集

特定非営利活動法人

編集責任者

ヒューマンハーバー世田谷

住所

世田谷区野沢3-4-18-102

編集責任者

隅一清

住所

世田谷区野沢3-4-18-102

発行人

03-3422-9281

発行人

03-3422-9281

発行人

03-3422-9281

障害者団体定期刊行物協会
 世田谷区砧6-26-21 (定価100円)